

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議への参加メンバーが固定化しておりまだ未参加のご家族も多い。折角の機会を大切に、活発な意見交換や地域との交流発展の場にしていきたい。	不参加のご家族を減らす。地域多方面の方の参加。	会議内容の見直しを図り、会議参加に興味を持って頂けるように働きかける。今までご参加頂けなかった方々にも、再度参加を呼びかける。	12ヶ月
2	8	権利擁護に関する制度の職員理解が不十分である。	各職員が制度の理解が出来、援助中で活かせるようになること。	研修会・勉強会の実施。	6ヶ月
3	20	利用者の一部の実施のみに留まっている。	利用者個々の馴染みの人・場所を把握し、関係を継続して頂けるよう支援。	日常会話の中からニーズを聞き取り、ケアカンファレンスにて実現を向け検討する。	6ヶ月
4	33	まだ重度化に至らない利用者やその家族との、話し合いが不十分である。	重度化する前から、重度化した場合どのような希望があるのか。個々の情報を把握しておく。	運営推進会議・ご家族来訪時の面接などで、施設の指針を伝え、本人・ご家族の意向を確認し、重度化した際に慌てないよう備える。	12ヶ月
5	49	もっと外出の機会を増やしていきたい。近隣に歩いて行ける商店があまりないため、外出は車で大掛かりになってしまう。	利用者個々が週に1度の外出の機会を持つ。	外出レクの他にも散歩や買い物などの機会を増やすよう、各会議等で検討頂く。また各職員に外出の機会の大切さを理解、行動に移してもらえるよう働きかける。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。